

学校と地域を元気にする

狭山市の地域学校協働活動(SCSC)

狭山市教育委員会



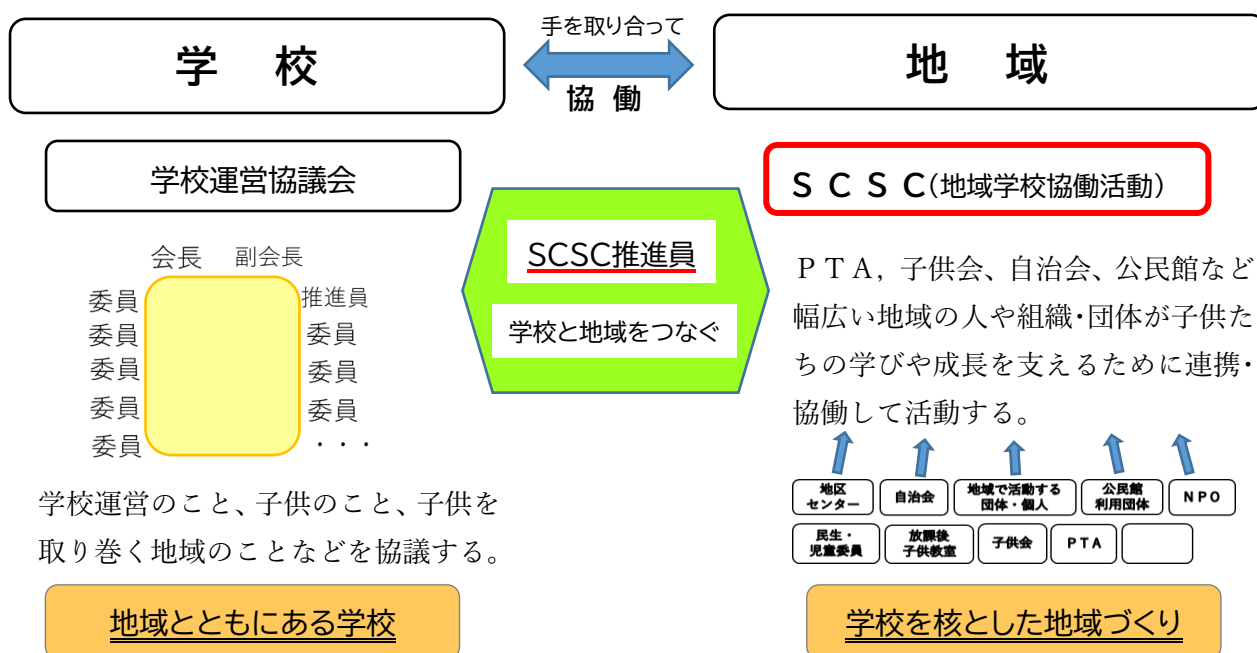
狭山市では、地域学校協働活動の略称をSCSCと表記して、「すくすく」と読んでいます。

すくすく

SCSC って…?

Sayama Community School Collaboration の頭文字で、地域と学校の協働により子供が「すくすく」成長できるように学校支援や地域づくりを進めようという決意を込めています。

SCSCは、学校運営協議会での話し合いを受け、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体、機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



・狭山市の公立小・中学校には、学校運営協議会を設置しています。

・SCSC推進員は、地域の団体等をつなぎ、幅広い地域住民等の参画を得て、SCSCの推進を図ります。

子供を中心に学校づくり・地域づくりを進めることで、地域全体で次世代を担う子供たちの成長を支えます。

SCSCを進めると…

○地域の人と関わることにより、子供たちのコミュニケーション能力が向上します。

○様々な体験や経験をすることにより、子供たちの学びが確かなものになります。

○子供たちは、活動を通じて、一定の役割を担うことができたり、地域の人に認められたりすることで、自己有用感を高めます。また、他の人を思いやる気持ちも育ちます。

(自己有用感：誰かの役に立っている、貢献している等、自分が有用であると思える感情)

○子供たちは、地域の行事に主体的に参加し、様々な人との出会いにより、地域への愛着心をもちます。

○学校の教育活動にゲストティーチャーやボランティアが関わることで、子供たちの学習が充実します。

○学校と連携・協働することで、地域の活動を活性化することができます。また、地域住民のつながりが広がり、深まります。

《具体的な活動は、うら面をご覧ください。》

地域の子供を多くの大人で見守り育てるために

個人でもできること・・・

○学校支援のボランティアに参加しましょう。

(登下校の見守り、児童生徒への挨拶、学習の支援、環境整備など)

○地域の活動(行事、祭りなど)に参加して、地域の人と関わりましょう。

(家族と参加する、役割を受け持つ、仲間をつくる)

○地域の活動で、子供たちに役割を与えましょう。

(子供を地域の主役にして、子供が達成感を味わえるようにしましょう。)

◎大人も子供も学校や地域での活動に積極的にに関わり、できることを分担して活動し、人と人がつながることで、住みよい地域、子供たちが健やかに安心して暮らせる地域になります。

◎学校の教育活動を支援する活動例

Case 1

小学校生活科の学習で
地域のお店や公共機関
を訪問する活動を実施

- 地域住民が訪問先の
選定・調整を実施
- SCSC推進員が授業当日の
引率ボランティアを募集

調整や、当日の案内を
地域住民が担うことで
地域の実情に合わせた
活動が可能に！

Case 2

中学校でキャリア教育の
一環として職業人の話を
聞く学習を企画

- 学校運営協議会からの
要望を基に職業人を探し、
連絡調整を実施

各委員のネットワーク
を活用し、多種多様な
講師を招待可能に！

期待される
成果

★地域住民の主体性向上
★教育活動の充実

★社会に開かれた教育課程の実現
★教員の負担軽減

◎地域や学校の課題の解決を目指す活動例

Case 1

小中学生や保護者の地域
活動への参加減少が課題に

- 学校の防災学習と連携し、
公民館事業として
親子防災講座を実施

公民館事業に関心を
持つきっかけに！

防災倉庫の確認を
する中学生



Case 2

地域の祭りが少し寂れて
しまっていることが、
学校運営協議会で話題に

- 祭囃子保存会と調整し、
小学校のバザーで
伝統芸能の実演を実施

地域のよさに気づき
ふるさと意識が向上！

バザーでの実演
小学生も演奏



期待される
成果

★児童生徒の体験活動の充実 ★地域への愛着の向上
★多世代が地域活動に参画する機会の増加